

三原市久井歴史民俗資料館

vol.2

モーモー通信



モーモーがやってきた！ IN 資料館

資料館に牛の模型の「たかね号」が来てくれました。牛がとてもリアルに再現されていて、今にも「モーモー」と鳴いて動き出しそう。迫力満点です！

手入れや鞍など飾りつけを終え、今後、牛市の展示室でお出迎えしてくれるようになりました。



毛は棕櫚^{しゅうろ}で作られています。
しっぽもひづめも、本物みたい！



たかね号

こちらの牛の模型は、地元の方ならご存知ではないでしょうか。名前を「たかね号」といい、年齢は21歳(平成11年に制作)です。以前行われていた、「久井ウッシシ祭り」での久井牛市の再現イベントで登場していました。お祭りでは、各地区からそれぞれ牛の模型を制作し行進しました。たかね号は下津地区のもので、名前は下津の^{たかねやま}高根山にちなんでいます。

どの地区の牛の模型も見事で、それぞれ個性とこだわりがあり、獣医さんが監修して制作した地区もあったといわれています。



平成11(1999)年 第1回ウッシシ祭り開催

昔は一緒に農業を担^{にな}う牛は「農宝^{のうほう}」ともいわれ、米俵10個分(600kg)ほどの価値がありました。牛は頼もしいパートナーであり、ときには家族のような大切な存在だったのでしょう。戦前まで久井では、牛に乗った花嫁行列を行っていました。牛への愛や誇りを感じるウッシシ祭り。平成24(2012)年には「ふれあい祭り」と一緒になって「久井！さわやか高原祭り」と改名されています。

たかね号と、ちょっと昔の農家にタイムスリップした気分で、展示をご覧ください。

ぎおん祭のおどりをご存知ですか？



久井の古い歴史があるお祭りについてご紹介します。毎年7月15日に近い日曜日に、久井稲生神社の
 摂社八重垣神社で、町内の7地区(吉田・筋原・江木・下津・和草・黒郷・泉)の人たちによって「稲生神社
 ぎおん祭のおどり」が奉納されます。県無形民俗文化財に指定されており、毎年多くの人たちでにぎわっ
 ています。起源は古く大永4(1524)年、江木の高根山城主山名氏がこの神社に参詣したときに領民が「にぎ
 やかし」として奉納したことにより始まったと伝えられています。一時中断しましたが永禄3(1560)年、
 三原城主小早川隆景が神社を再建し参拝したときに再び奉納され、現在まで続いています。

行列



↑ 昭和 52(1977)年撮影



← 昭和 46(1971)年撮影
 杖使いは、雨乞い、虫
 送りの踊りを披露しま
 す。

つえ 杖使い

← 平成 26(2014)年撮影



↓ ↑ 平成 26(2014)年撮影

ししまい 獅子舞

昭和 44(1965)年撮影→
 ひょうきんじいがひょっとこ
 面をつけ、獅子舞にからみ、場を
 盛り上げます。



かさ 笠踊り



* 本年度のお祭りの開催は、中止となります。

つづきは資料館で...

〒722-1303

三原市久井町下津 1397

三原市久井歴史民俗資料館

TEL・FAX 0847-32-7139

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合、翌日休館)、年末年始

アクセス 中国バス久井中停留所下車

いあんない図

